

地域の課題

搬出間伐・列状間伐の普及推進

○地域の一般民有林では切捨間伐が8割で搬出間伐が進んでおらず、列状間伐の取組も1割と低い(※)。

森林所有者が、搬出間伐と列状間伐を理解し定着する取組が引き続き必要。

※H27年度公共補助の事業

○民有林と国有林が効率的に間伐等の森林整備を推進していくために、連携した路網配置の検討が必要。

今後の課題

○低コスト・高効率作業の推進に向けた列状間伐を普及・定着するため、民有林所有者等に列状間伐に対する抵抗感の払拭や安全性の理解の醸成に向けた現地検討会を開催する。

○民有林路網図面の作成に向けてGPS及びドローンを活用・普及するため、町職員や森林室平取事務所職員の参加による研修会や勉強会を実施して、民有林の路網状況を把握することで、連携した集約化施策につなげる。

平成28年度の取組

① 森林組合への聞き取り及び情報交換を実施

○管内における搬出間伐及び列状間伐が進まない状況と、今後の搬出間伐等の推進に向けた問題点の把握をするため、沙流川森林組合及び森林室平取事務所に、現状の聞き取り及び情報交換を実施した。



森林組合等への聞き取りにおける成果

① 施業の提案方法

間伐予定箇所は、標準地調査結果に基づき提案しているが、列状間伐を提案すると、森林所有者においては、風害の影響や過伐採の危険など強い抵抗感がある。

② 間伐の判断・要因

搬出条件(林分内容・傾斜及び地形・路網など)で判断している。

③ 施業の集約化

間伐箇所の近隣者にも間伐の働きかけを行っている。

② 国有林・町有林・社有林の統合図面を整備

○国有林・町有林・社有林が効率的に間伐等の集約化施策を推進するため、連携した路網配置図の整備に着手した。



連携した図面の整備する効果

○国有林・町有林・社有林の路網の配置状況により、綿密な情報交換をすることで集約化施策の実施の可能性が確認された。